



2021年8月10日

各 位

会 社 名 キリンホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 磯崎 功典  
(コード番号 2503)  
本社所在地 東京都中野区中野四丁目 10 番 2 号  
問 合 せ 先 コーポレートコミュニ  
ケーション部長 堀 伸彦  
(03-6837-7015)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

キリンホールディングス株式会社（代表取締役社長：磯崎功典、以下「当社」）は、2021年2月15日に公表した2021年12月期の業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

#### 1. 業績予想の修正

2021年12月期の連結業績予想修正の内容（2021年1月1日～2021年12月31日）

	売上収益	事業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,880,000	180,000	177,000	132,000	103,000	123.56
今回修正予想 (B)	1,870,000	170,000	158,000	112,500	86,500	103.77
増減額 (B - A)	△10,000	△10,000	△19,000	△19,500	△16,500	—
増減率 (%)	△0.5	△5.6	△10.7	△14.8	△16.0	—
(参考)前期連結実績 (2020年12月期)	1,849,545	162,115	124,550	99,842	71,935	85.57

#### 2. 修正の理由

当社は、主としてミャンマーの政情変化による生産・販売・物流体制への影響、同国内における新型コロナウイルス感染症の拡大影響が、下半期においても継続することが見込まれることなどから、通期の連結売上収益および連結事業利益予想を修正しました。

また、ミャンマーにおける新型コロナウイルス感染症の拡大に加え、政情変化とサプライチェーン混乱の影響などにより、事業環境の不透明感が高まっていることから、ミャン

マー・ブルワリー社の資産に係る回収可能性について検討を行いました。その結果、事業環境の不確実性が高い状態が継続する見通しとなってきたこと、及びカントリーリスクの上昇の影響により、当第2四半期連結会計期間において同社に係るのれんの減損損失 214 億円を計上しました。これらの理由から、税引前利益以下の段階利益についても業績予想を修正しました。

### 3. その他

配当は、平準化 EPS<sup>(注1)</sup> に対する連結配当性向 40%以上を目途としていますが、減損損失約 214 億円は「その他の営業費用」として計上されるため、平準化 EPS への影響はありません。また、今回の業績予想修正に伴って、配当予想（中間配当 32.5 円、年間配当 65.0 円）に変更はありません。

(注 1) 平準化 EPS = 平準化当期利益 / 期中平均株式数

平準化当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益 ± 税金等調整後その他営業収益・費用等

以 上